

事業の概況

事業方針

当金庫は、基本理念「地域に役立つ信用金庫」を実践し、地域経済の活性化と持続的な発展に貢献するため、令和5年度を初年度とする3か年の中期経営計画「創造、そして未来へ」（令和5年度～令和7年度）をスタートさせました。新中期経営計画「創造、そして未来へ」では、前中期経営計画「変革・挑戦」への取組みを通じて浮かび上がった経営課題や経営環境の変化に対応すべく、「成長力」「収益力」「健全性」の3つの観点から基本戦略を掲げ、当金庫の「あるべき姿」の実現と「目標とする経営指標」の達成を目指すこととしており、計画初年度では当地域経済の「コロナからの再生」を掲げ、取引先への切れ目ない資金繰り支援、コンサルティング機能発揮による課題解決、本業支援・再生支援に全力で取組むとともに、計画に掲げた実施施策を着実に遂行してまいりました。また、当金庫の経営の合理化と経営資源の有効活用を目的として、子会社であるはちしんビジネスサービス株式会社は令和6年3月31日付で解散しました。

(1) 成長力

- ・新型コロナ禍の長期化や物価高騰による影響を受けた取引先の資金需要に積極的に対応するとともに、ニーズに合わせた補助金申請や事業継続等に係る各種支援に取組みました。
- ・事業性評価を活用したコンサルティング機能の発揮による取引先の本業支援や経営改善支援に積極的に取組んだほか、創業・事業承継支援等にも注力しました。
- ・非対面チャネルの普及促進、キャッシュレス化の推進等金融テクノロジーへの対応を推進しました。
- ・OJT、各種研修等を精力的に実施するとともに令和6年度からのベースアップ（賃金表改定）の決定など多岐にわたる人事施策を実施しました。
- ・当金庫本部・本店新築工事について、令和6年5月に新本店営業部の完成、令和8年度中に新本部棟を含めすべての建物が完成する運びとなりました。

(2) 収益力

- ・グループ別、顧客セグメント別戦略に基づく営業推進体制の構築・定着に取組むとともに、本部による営業店サポート体制の更なる充実を図りました。
- ・貸出金利息は貸出金平残の減少等により計画値を下回りましたが、役務取引等収益は営業支援システムの有効活用等による営業活動によって預かり資産業務が好調に推移したことにより、計画値を上回りました。
- ・資金運用業務について、有価証券利息配当金は期中平残の積み上げと円安の進行によって計画値を上回る実績を確保することができました。
- ・経費管理システムを導入し、業務管理の効率性向上に取組みました。

(3) 健全性

- ・有価証券評価損益の改善と収益力強化を図るため、外貨建債券ポートフォリオの計画的修復に取組みました。

- ・マネー・ローダリング及びテロ資金供与対策として、「継続的顧客管理」の完全実施に取組みました。
- ・インシデント訓練および業界合同障害訓練等の実施によりサイバーセキュリティに関する対応能力の向上に取組みました。

事業実績

■預金積金

預積金残高は、要求払い預金の増加を主因に1,231億42百万円と前期比1億70百万円(0.13%)の増加となりました。

■貸出金

貸出金残高は、325億53百万円と前期比7億14百万円(2.24%)増加となり、預貸率は0.55ポイント上昇の26.44%となりました。

損益の状況

収益面では、貸出金平残の減少および利回りの低下によって、貸出金利息は前期比1百万円減少の4億18百万円となり、有価証券利息配当金については、前期と比較して平残が増加したことや円安効果によって前期比3億6百万円増加の11億86百万円となりました。また、年度を通じた有価証券の機動的な運用により、国債等債券売却益3億60百万円を確保したことから、経常収益は22億39百万円となりました。

費用面では、経費が前期比76百万円減少の11億5百万円となったこと等により、経常費用は14億円となりました。

これらの結果、経常利益では8億38百万円、当期純利益では5億78百万円を計上することとなりました。

当金庫の対処すべき課題

3つの基本戦略「成長力」「収益力」「健全性」を連環させ重要施策に取組んでいきます。

(1) 成長力

- ・新型コロナ禍の長期化や物価高騰に係る影響への対応
- ・法人取引の強化 ・個人取引の強化 ・人材育成
- ・地域活性化への継続的取組み ・金融テクノロジーへの対応
- ・地域SDGs及び脱炭素社会に向けた取組み

(2) 収益力

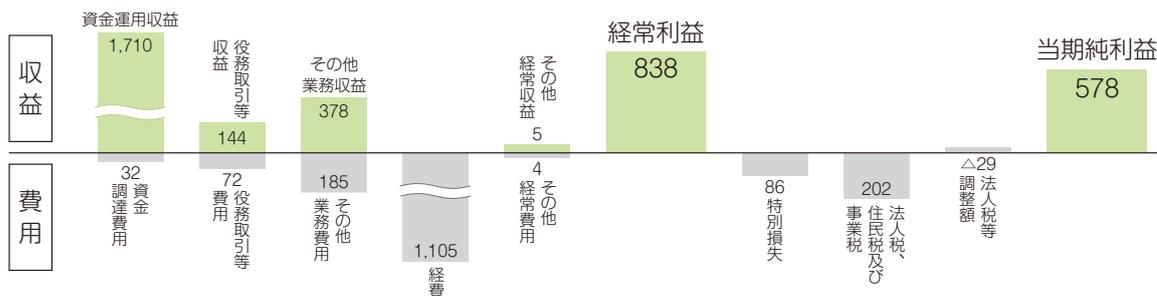
- ・営業体制の強化 ・貸出金利息収益の確保
- ・資金運用関連収益の確保 ・役務収益等の強化
- ・業務改革による生産性と効率性の向上

(3) 健全性

- ・リスク管理態勢の更なる充実
- ・コンプライアンス態勢の継続的強化
- ・顧客保護等管理態勢の継続的強化
- ・マネー・ローダリング及びテロ資金供与対策の強化
- ・サイバーセキュリティの継続的強化

収益と費用

(単位:百万円)



Word 経常利益

業務純益を含む業務内、業務外の通常発生する収益から、その収益を得るために発生する費用を差し引いたものです。

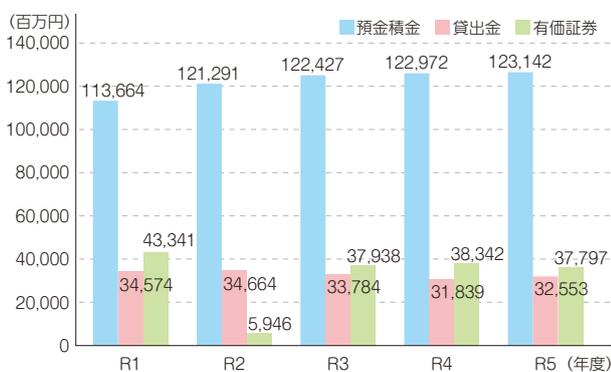
Word 当期純利益

経常利益に突発的な収益や費用(特別利益・特別損失)を加減し、法人税等を控除したものです。

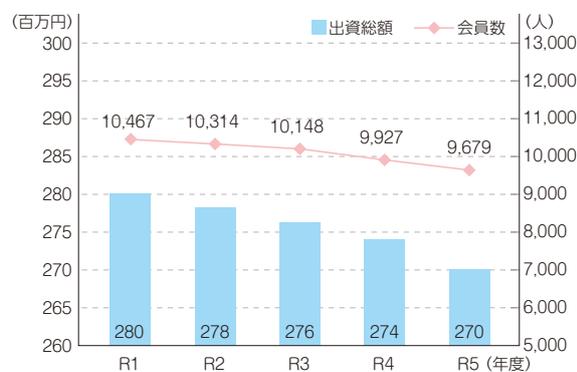
主要な経営指標

		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	(千円)	3,342,709	7,590,844	2,548,167	1,681,692	2,239,074
経常利益	(千円)	1,702,631	4,625,131	561,612	387,723	838,622
業務純益	(千円)	1,724,377	4,721,105	594,228	396,012	861,212
当期純利益	(千円)	1,235,087	3,356,040	441,118	203,414	578,457
出資総額	(百万円)	280	278	276	274	270
出資総口数	(千口)	561	556	552	548	540
純資産額	(百万円)	17,179	16,658	15,411	12,816	14,935
総資産額	(百万円)	133,547	139,903	138,406	136,342	138,751
預金積金残高	(百万円)	113,664	121,291	122,427	122,972	123,142
貸出金残高	(百万円)	34,574	34,664	33,784	31,839	32,553
有価証券残高	(百万円)	43,341	5,946	37,938	38,342	37,797
単体自己資本比率	(%)	43.86	44.05	57.02	62.03	59.43
出資に対する配当金(出資1口当たり)	(円)	20	20	20	20	20
1店舗当たり	預金積金残高(百万円)	12,629	13,476	13,603	13,663	13,682
	貸出金残高(百万円)	3,841	3,851	3,753	3,537	3,617
役職員1人当たり	預金積金残高(百万円)	909	970	1,055	1,160	1,140
	貸出金残高(百万円)	276	277	291	300	301
役員数	(人)	15	15	15	15	15
	うち常勤役員数(人)	7	7	7	7	7
職員数	(人)	118	118	109	99	101
会員数	(人)	10,467	10,314	10,148	9,927	9,679

預金積金・貸出金・有価証券の残高

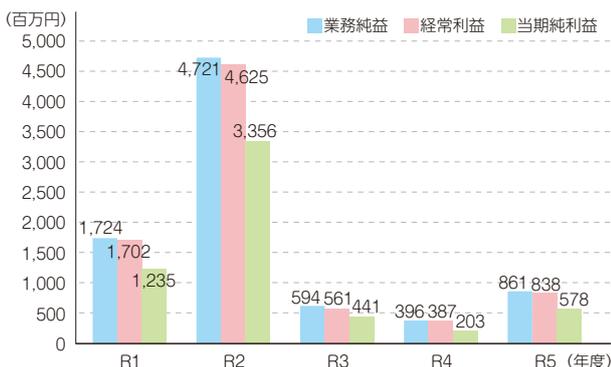


出資総額と会員数



(注) 当金庫の会員資格は、当金庫の事業地区内にお住まいの方、転居を予定されている方、お勤めの方、事業所をお持ちの方およびその事業所の役員の方となっております。
ただし、法人の場合は従業員が300人以下または資本金が9億円以下の事業者に限られます。

収益の推移



Word

業務純益

金融機関の基本的な業務に係る利益を示すものであり、いわゆる本業による利益です。具体的には業務粗利益(資金運用収支・役務取引等収支・その他の業務収支の合計)から、業務遂行に必要なとされる費用、つまり「経費(除く臨時経費)」を控除したものです。